

浜通りの気象条件を活かした 花き周年栽培の実証（浪江町、広野町）

福島県農業総合センター 生産環境部 福島市駐在

事業名 福島県営農再開支援事業
小事業名 営農再開へ向けた作付実証（県による実証研究）
研究課題名 浜通りの気象条件を活かした花き栽培の実証
担当者 野田正浩、鈴木幸雄、根本知明

I 新技術の解説

1 要旨

避難指示区域等において、既存研究成果等を活用した実証栽培を行い、農業者の営農再開に対する不安を払拭するとともに、収益性及び品質の優れた作物生産を実証することで地域の営農再開を進める。

本試験は、花きにより営農再開を志向する新規栽培者とともに実施し、浪江町幾世橋の現地ほ場においては、通い耕作で施設栽培による花きの周年栽培を、広野町下北迫においては、露地栽培と施設栽培による花きの周年栽培を実証した。

- (1) トルコギキョウは、8月上中旬開花の作型において、品質の高い切り花が得られた（表1、図2）。夏季の高温期に採花した切り花でも、十分な日持ちが確認された（図1）。市場の評価も高かった。
- (2) カンパニュラは、長日処理により3月2～3半旬から採花が可能であった（表2、図3）。
- (3) 本実証研究により、4月から翌年3月までの花き周年栽培が実証された（図4）。
- (4) 花き施設栽培に係る主な資材等の経費は、121,014 円/a・年であった（表3）。

2 期待される効果

- (1) 避難指示解除準備区域を含めた、浜通り沿岸部における、花き導入時の資料となる。

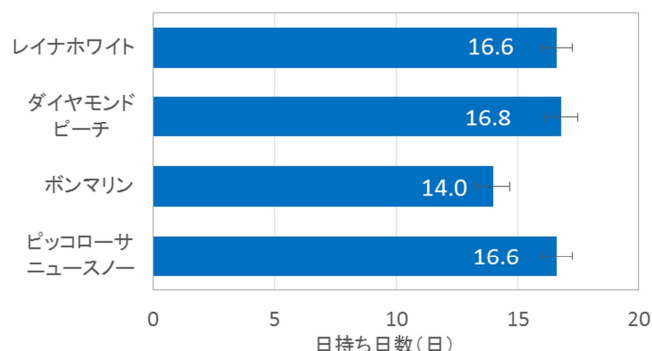
3 活用上の留意点

- (1) 今回の実証栽培は、浜通り北部中部の標高約5～30mの現地ほ場で行った結果である。
- (2) 作付け前に必ず土壌分析を実施して施肥を行う。
- (3) 露地栽培では、電気柵等による鳥獣害対策を適宜実施する。

II 具体的データ等

表1 トルコギキョウ切り花品質（5/16定植、8/12調査）

品種名	花色	切花長 (cm)	節数 (節)	有効花蕾 (花)	調整重 (g)
レイナホワイト	白	92.6	11.4	13.4	127
マリアホワイト	白	104.2	13.2	17.0	94
ロベラホワイト	白	86.4	11.0	12.0	74
ピッコロサニユースノー	白	75.8	12.0	18.8	86
ボレロホワイト	白	80.0	12.5	16.0	77
ボンマリン	白+紫	85.2	14.0	15.6	87
ボレロブルーフラッシュ	淡紫	73.6	11.8	10.4	61
ロマンスグリーン	淡緑	90.6	12.4	13.0	87
ボレロマリン	白+紫	85.0	12.8	14.0	111
ダイヤモンドピーチ	桃	79.8	12.4	15.2	109
キキ	紫	79.8	12.8	20.8	123



※日持ち調査条件: 8月11日採花、8月15日～9月4日調査、
気温 28～30℃、相対湿度約 60～80%、24 時間照明

表2 カンパニュラの開花期生育 (10月27日定植)

試験地	品種	開花始期	開花盛期	開花終期	草丈 (cm)	節数 (節)	茎径 (mm)	有効花蕾 数(個)	切花重 (g)
浪江町	チャンピオン・スカイブルー	3月3半旬	3月4半旬	3月6半旬	91.8	24.6	7.3	28.4	79.4
	チャンピオン・ピンク	3月3半旬	3月4半旬	3月6半旬	87.6	23.4	7.9	25.6	122.0
広野町	チャンピオン・スカイブルー	3月2半旬	3月3半旬	3月6半旬	64.0	19.7	5.0	11.6	39.0
	チャンピオン・ピンク	3月3半旬	3月4半旬	3月6半旬	73.6	20.9	4.9	12.6	62.7

※長日処理:定植直後から頂花発蕾期まで 23:00~1:00 の2時間暗期中断。光源は電球型蛍光灯、設置方法は2m間隔、高さ1m。



図2 トルコギキョウ実証栽培の様子(7月22日、浪江町)



図3 3月2半旬から開花したカンパニュラ

[illegible]

図4 現地ほ場2カ所で実証した花きの栽培歴

表3 花き施設栽培に係る主な経費の例(浪江町:通い耕作)

資材名	経費(円/a)	内訳
トルコギキョウ苗	67,136	406 穴トレイ購入苗
ハウスサイド自動開閉	16,632	ソーラーパネル、巻上モーター2個、温度センサー、制御盤等
自動灌水装置	10,750	自動灌水タイマー付き電磁弁 6,350、フィルター・灌水チューブ 4,400
防虫ネット	3,040	ハウスサイドネット・遮熱・防虫・遮光率 30%
遮光ネット	7,320	30%遮光
内張りカーテン	10,951	パイプ類 4,796、フィルム 6,155
電照資材	5,185	電球 1,047、防水ソケット 2,244、コード 1,708、プログラムタイマー186

※種苗以外は、償却期間5年とした単年度経費

Ⅲ その他

1 執筆者 野田正浩 2 実施期間 平成 26 年度

3 活用した技術のポイント(参考文献・資料等)

- (1)「トルコギキョウの切り花の花持ちを良くする栽培・出荷方法」、平成 24 年度、普及に移しうる成果
(2)「カンパニュラ・メジュームの効率的な長日処理法」、平成 23 年度、普及に移しうる成果